沖縄のフロラを二分する境界線（四）

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2022-02-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 正宗, 厳敬, Masamune, G. メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00065534

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.

正宗厳敬 **沖縄のフロラを二分する境界線**（四）G. Masamune : The Line of Demarcation which Divides the Flora of Okinawa in Two Regions VI.

コウトウリユウビンタイ (**Angiopteris d'Urvilleana De Vries**) 本種は西表が北限となつているが，その正確な産地にはうたがいがある。

オオカンシノブホラゴケ (**Nesopteris pseudoblepharistomum Masam.**) 西表島に特産とされているが，石垣島にもあるらしい。何れにしても，先島群島より北には今のところ未見のようだ。

リウキウキジノオ (**Plagiogyria koidzumii Tagawa**) 西表島の平地，山地の日蔭に多い。この羊歯も，先島列島より北には未発見のようだ。

ヤエヤマホングウシダ (**Lindsaya coucinna J. Sm.**) 西表，石垣島などの渓間に自生し，フイリピンなどの東亜の熱帯に分布する。

グレブリイノモトソウ (**Pteris grevilleana Wall.** これも前種と同じような，地理分布をするシダであるが，この線の北には未発見であるらしい。

シンテンイノモトソウ (**Pteris plumbea Chr.**) 私が採集した，このシダの琉球列島の産地は西表島と石垣島で，この境界線の北では未だ見ていない。台湾ではいわゆる照葉樹林の林床に相当広く分布している。

ヒトツバコウモリ (**Cyclosorus simplex Copel.**) 西表島に産するという。台湾で南部に稀に見出される。コウモリシダとはよほどちがつたものでこの境界線の北には未発見。

コガネシダ (**Acrostichum aureum Linn.**) ミミモチシダともいう。西表島のヒルギ林中に多い。その他の八重山群島に見出される。台湾には産しないが，南アジアには広く分布するらしい。しかし，沖縄本島以北には見出されない。

ヤエヤマヘツカシダ (**Bolbitis interlineata Ching.**) 八重山群島より以南に見られる。

カナグスクシダ (**Prosaptia kanashiroi Nak.**) 本種は沖縄本島にも産するともいわれているが，私はまだたしかめていないので．今のところ八重山の特産と考えている。

タイワンヤマモガシ (**Helicia formosana Hems.**) 本種は，与那国島に自生することになつているので，やはり植物地理区分をする時の一つの資料となるわけであるが，はたして自生するかどうかはつきりしないところがある。

ヤエヤマツチトリモチ (**Balanophora kuroiwai Mak.**) 恐らく本種は *B. fungosa* であろう。何れにしてもこの境界線の北には分布しないようだ。

投　稿　規　定

植物群落，地理，分類学などに関する論文，抄録，雑報，学界消息等で特に独創的なものを歓迎する。また広く植物界を対象とするので北陸と言う地域にこだわらない。

原稿は本誌四頁より長くならないこと，表題には欧文を添え，欧文の摘要を必ずつけてください。原稿締切日は，12月，3月，6月，9月の各15日とする。たゞし登載の順序及び可否は編纂者が定め，登載誌は一部をさしあげます。

図版代は投稿者の負担とし，また特に長いものを出したい時は，組代を負担されると出すことが出来ます。投稿は会員に限ります。